

鳥取中央育英高等学校 第48回 同窓会関西支部総会のご案内

多くの同窓のご参加をお待ちしています

新緑の候、鳥取中央育英(旧由良育英、赤碕)高等学校の同窓生の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。今年も下記のとおり、同窓会関西支部総会及び懇親会を開催しますので、まだ参加されたことのない方も気軽にお越しいただければと思います。

同窓会関西支部は、大阪や兵庫、京都など関西の地に暮らす(勤務する)同窓生が、卒業の年次を超えて年に1回集まって、母校の現状を聞き、また参加者同士の懇親を深める場として半世紀近い歴史を重ねてきました。校長先生をはじめ母校の出席者からは、後輩の生徒たちの進学やスポーツでの奮闘ぶりが報告されます。また、第2部の懇親会では、学年別の交流はもとより、卒業年次を超えた思い出話に花が咲きます。スクラムを組んで歌う応援歌は「あの時代、を思い起こさせてくれます。

普段は同窓生と会う機会もないあなた、懇親会で懐かしい友や先輩・後輩との出会いを楽しんで下さい。できましたら、あなたの同期の仲間、知人・友人の方にもお声かけいただき、一人でも多くの参加をお願いしたいと思います。

日時 平成28年6月5日(日)

受付10時～11時 総会11時～12時 懇親会12時～14時

場所 大阪東急REIホテル(旧大阪東急イン)

大阪市北区堂山町2-1 ☎06-6315-0109

(注)これまでの「弥生会館」は建替のため、会場を変更していますのでご注意ください

参加費 8,000円

ご来賓 佐伯健二同窓会長、母校校長ほか予定

申込み 同封のハガキにより5月16日(月)までにお申込みください。



会場のご案内

道順：JR大阪駅、阪急梅田、阪神梅田
地下鉄梅田・西梅田・東梅田から徒歩で
10分
地下街「ホワイティ梅田」、「泉の広場」
10番出口を上るとすぐです。

目印は「太融寺」(北向い)

昨年の総会風景

昨年の総会・懇親会は、六月七日、大阪駅近くの弥生会館で開催されました。母校より永年水球部の指導で名高い宍戸教頭先生と駅伝監督の岡本先生が、同窓会本部よりこれも永年新聞部を指導された戸田副会長の出席をいなたき、約六〇名の参加で楽しいひと時を過ごしました。

第一部の総会では一年間の活動が報告されるとともに、卒業年次ごとに役員が選任され、みんなで記念写真を撮りました。



生涯の友と語り合い、笑顔で「乾杯！」

最年少参加の橋谷さんは平成の卒業生



みんなの楽しみは第二部の懇親会。卒業年次ごとにテーブルに分かれ、食事をとりながら、懐かしい思い出や悲喜こももこの近況に話が盛り上がります。

最後は、参加者で最高齢の井原博幸さん(昭和二五年卒業)のハーモニカ演奏で応援歌「角盤山」と「ふるさと」を合唱して終了しました。

「よき先輩」に囲まれて

幹事 盛山剛 (昭和六〇年卒)

高校を卒業して今年五〇歳になります。関西支部の幹事を一〇年余り。多くの先輩の在校中のエピソードや思い出話を聞かせていただき、故郷を懐かしむことができ、一方、今日までのお仕事での活躍ぶりを聞かせていただき「もっと頑張らなくては」という気持になります。

毎年、京都で行われる全国高校駅伝に出場する選手たちの激励会について、みなさんが熱心に議論される姿に頭が下がります。

初めて幹事になった当初は諸先輩に年の差を感じていましたが、いまでは「良き先輩であり、年の離れた友達」と思えるようになり、お会いするのが楽しみになりました。まだ総会に出席されていない方、一度ならず、何回も足を運んでみてください。



井原さんのハーモニカ演奏、宍戸教頭の「角盤山」熱唱で開場は最高の盛り上り

昨年の総会参加者()は旧姓

- 二五年卒：井原博幸
- 二八年卒：田中静徳、山田極
- 三一年卒：山脇恭之助
- 三三年卒：和田(法本)綾子、福田守、徳丸智昭、山脇栄一郎、梅田(田中)三喜子、塩谷(黒見)良枝、大岡(加島)敏子、中原聰、三浦(中村)桜
- 三四年卒：上山寛光、門脇(平野)公雄、小橋士郎、林(岩本)充子、豊嶋賢二、竹歳元則、米田昌平
- 三六年卒：船木弘光、福島一祐
- 三七年卒：大西壽弘、吉田崇
- 三八年卒：山下勝雄、大丸博信、村上英之、坂口(福本)真由美
- 三九年卒：岡田信吾、橋本和男、竹村(耳井)千晶、村上輝雄、橋本壽久、横山富士子
- 四一年卒：御古孝行、前田稔、中村(見谷)恵子、山崎久男
- 四二年卒：竹本紀穂、灘本憲夫、中西基夫、山根義文、山田(本田)朱実
- 四四年卒：宮本奉祝、山根正二、早川(桑本)都、椋木(阪本)みち子、手嶋彰、福井敏光
- 四七年卒：木山克己、六〇年卒：盛山剛
- 六三年卒：谷本真一、四四年卒：橋谷一義
- 戸田通昭(同窓会副会長)、横山尚登(校長)、岡本亘(教諭)、上野芳広(鳥取県関西本部チーム長)、福山琢磨(大阪鳥取県人会会長)

いま、母校は、 緑が丘は……

鳥取中央育英高等学校は、旧大栄町の「緑が丘」と呼ばれる高台にあり、南に霊峰大山を仰ぎ、北に日本海を見下ろすことができます。十一年前の平成十七年四月に由良育英高校と赤碕高校が再編されて一つになり、新たな出発をしました。その我が母校の現状をご紹介します。



校章

克己

校訓・教育目標

校訓は創立者の豊田太蔵先生の遺訓である「克己の精神」を引き継いでいます。「他に勝たんとする者は、すべからく先ず克己の勇気を興起すべし」という在学時代に学んだあの言葉です。

普通コース

普通コースは大学への進学を目標とした授業を展開しています。昨年春の進学では、国公立大八名、私立大三七名、医療看護系専門学校二二名など各方面に巣立っていきました。

体育コース

体育コースは昭和四四年に開設され、全国高校総体、国体などの全国大会に数多く出場してきました。水球、レスリング、陸上、山岳部等での活躍が光っています。特にレスリング部は県高校総体団体で一七連覇達成という強さを誇っています。女子駅伝も一五年連続優勝を続けており、昨年末の京都・都大路でも力走を見せてくれました。



なつかしい旧由良育英校舎



はじける!
若いちから
大運動会



活発化する同窓会

現在、母校の同窓会は本部のもとに関東、関西、倉吉、三朝、東郷、大栄、東伯、赤碕、西部の各支部があります。

本部総会に三〇〇名!

来年は創立一一〇周年

本部同窓会(佐伯健二会長・昭和四四年卒)は昨年八月一六日、ホテルセントパレス倉吉で開催した総会に三百名を越す参加者を実現し、来年の創立一一〇周年記念事業の成功をめざしています。

(本部)

会長 佐伯健二(育英四四年卒)

会長代行 町田貴子(赤碕四四年卒)

副会長 多田典子(育英三二年卒)

戸田通昭(育英三四年卒)

ほか一〇名

(関東支部)

支部長 木村由紀雄(育英三八年卒)

高校再編から母校を守る

母校は同窓生の心よりどころであり、末長い発展は心底からの願いです。生徒数減少による「高校再編」から母校を守るのが私の大きな仕事と考えて、頑張ります。そのためにも、同窓会の基盤強化が課題です。多くのみなさんのご寄付(一口二千円)をお願いします。創立一一〇周年は来年です。英知を集めて光明を得ましょう(会長 佐伯健二)

同窓会関西での取組み

駅伝女子チームを激励

京都



同窓会関西支部では、毎年十二月に全国高校大会に出場する母校のチームに対して、京都で激励会を開催してきました。

昨年は、十二月二十日に大会が開催され、十七日に京都駅前のホテルセントノーム京都で激励会を行いました。母校より横山会長と岡本監督も参加され、全選手から決意表明がありました。

結果は四七位ということで残念な結果となりましたが、出場した選手は県予選以上の奮闘をみせてくれ、都大路で声援を送った同窓生は「来年は男女そろって出場してくれることを期待しています」と語ってくれました。



決意を語る選手



岡田支部長から記念品贈呈



『同窓会で盛り上がる』

関西支部長 岡田信吾

この度、鳥取中央育英同窓会関西支部の会報を創刊する運びとなりました。

（一）承知のとおり、関西支部では年一回総会を開催し、毎年六〇名前後の方が参加されます。

本部同窓会長、学校長はじめ多くの方と故郷や学生時代の思い出話を楽しんでおられる姿は実に美しいと感じます。

関西地区には一五〇〇〜二〇〇〇名の卒業生がお住まいと推定されますので、総会への出席数がさらに拡大すれば、この楽しい談笑の輪も一段と盛り上がると思えます。

この会報は、関西地区の活動状況を多少なりとも卒業生の皆様にお伝えし、お一人でも多くの方が同窓会の仲間となり、総会にも出席されるきっかけになればと祈念する次第です。



【関西支部役員】

- 支部長 岡田 信吾(三九年卒)
- 副支部長 山脇栄一郎(三三年卒)
- 副支部長 中村 之也(三七年卒)
- 副支部長 竹本 紀穂(四二年卒)
- 副支部長 山根 正二(四四年卒)
- 事務局長 山下 勝雄(三八年卒)

事務局 橋本 壽久(三九年卒)
幹事 井原 博幸(二五年卒)

- 同 朝野 章次(二五年卒)
- 同 入江 久幸(二八年卒)
- 同 吉田 順司(三一年卒)
- 同 大岡 敏子(三三年卒)
- 同 小橋 士郎(三四年卒)
- 同 竹歳 元則(三四年卒)
- 同 門脇 公雄(三四年卒)
- 同 福島 淳徳(三五年卒)
- 同 大西 壽弘(三七年卒)
- 同 吉田 崇(三七年卒)
- 同 大丸 博信(三八年卒)
- 同 竹村 千晶(三九年卒)
- 同 御古 孝行(四一年卒)
- 同 前田 道明(四三年卒)
- 同 斉藤 和夫(四三年卒)
- 同 宮本 奉祝(四四年卒)
- 同 福井 敏光(四四年卒)
- 同 磯江 保(四七年卒)
- 同 廣瀬浩一(五五年卒)
- 同 盛山 剛(六〇年卒)
- 同 黒田美穂子(六一年卒)
- 同 藤原 智美(六一年卒)
- 同 谷本 真一(六三年卒)
- 同 笹川 勝彦(平三年卒)
- 同 船木 弘光(三六年卒)
- 同 顧問 上山 寛光(三四年卒)

編集後記

仕事の合間に少しづつ編集しましたが、未熟な創刊号です。原稿にご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます(F・I)